

会長挨拶

皆様、本日はご多忙の中お集まり頂きありがとうございます。

この「みなとみらいアイメイトチャリティーコンサート」は、収益金をアイメイト協会に寄付すると共にアイメイト(盲導犬)を見てアイメイトの活動についてもっと理解頂くこと、また、若手音楽家の育成の一助となることを目指して企画されています。今年で22回目を迎え、多くの温かいご支援に支えられて運営されています。

今年は新進気鋭の「炎のヴァイオリスト」と「澄のピアニスト」の名手2人による至極のデュオリサイタルです。上原彩子(Ayako Uehara)が奏でるピアノの情緒的な音色と、情熱に溢れた石田泰尚(Yasunao Ishida)のヴァイオリンが会場を熱気に包みます。チャイコフスキーの名曲やR.シュトラウスのヴァイオリン・ソナタ等、とても幅広い演奏です。是非お楽しみ下さい。

今後ともアイメイト協会へのご支援をお願いすると共に、ご支援を頂く皆様方のご健勝とご繁栄を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



2025~2026
横浜ライオンズクラブ会長
鈴木 軌士

ご報告

2025年21回のコンサート会場募金として402,000円を公益財団法人アイメイト協会に寄贈致しました。横浜アイメイト支援基金から引き継ぎ「みなとみらいアイメイトチャリティーコンサート」としての寄付総額は60,996,877円になりました。

これからもコンサートの収益金は公益財団法人アイメイト協会及びアイメイト使用者の会に全額送られます。みなさまの深いご理解とご支援に対し、心より感謝し今後も変わりにくく応援していただきたくお願い申し上げます。

横浜ライオンズクラブコンサート実行委員

予告 2027年 みなとみらいアイメイトチャリティーコンサート

西川 悟平

Gohei Nishikawa

ニューヨークを拠点に活動し、カーネギーホールなどで聴衆を熱狂させているピアニスト。

輝かしいキャリアの途中で、突如シストニアという難病に冒されながらも、懸命なリハビリの末、7本指で再起を果たした奇跡の音楽家。ようやく動かせるようになった7本指の演奏は、魂を揺さぶる唯一無二の演奏を奏でるようになっていた。公演で世界を飛び回る傍ら、PanasonicのCMや映画「栞」の主題歌に起用される。2019年ベストドレッサー賞を受賞。2021年には「東京2020パラリンピック閉会式」で大トリを務め、グランドフィナーレを飾る。2024年には、小学校3年生の「道徳」の教科書(学研)に、その半生が掲載される。47都道府県、中学校、高校、大学を含め、コンサート活動で全国をまわる。2024年10月全国リサイタルツアー2024-2025東京公演 サントリーホール大ホールにて演奏。今、世界中から注目を集めるピアニスト。

第22回 EYEMATE PRESENTS みなとみらいアイメイトチャリティーコンサート

石田泰尚 上原彩子 デュオ・リサイタル



©Norizumi Kitada Universal Music

©Akira Muto

2026年5月18日(月) 18:00 開演 17:20 開場
横浜みなとみらいホール 大ホール

炎のヴァイオリンと澄のピアノが奏で合う
情熱と叙情のアンサンブル



主催:横浜ライオンズクラブ
後援:横浜市健康福祉局・公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団・神奈川新聞社
協力:公益財団法人 アイメイト協会・アイメイト協会同窓会

収益は全額アイメイト(盲導犬)の育成とその使用者の支援に使われます

Program

チャイコフスキー:懐かしい土地の思い出 Op.42

1.瞑想曲 2.スケルツォ 3.メロディ

ラフマニノフ:前奏曲 Op.23-5 ト短調

Op.23-4 ニ長調

Op.23-2 変ロ長調

休憩

アイメイトコーナー

ブロッホ:無伴奏ヴァイオリンのための組曲第1番

1. プレリユード 2. アンダンテ・トランキッコ

3. アレグロ 4. アンダンテ 5. アレグロ・エネルジコ

R.シュトラウス:ヴァイオリン・ソナタ Op.18 変ホ長調

1. アレグロ・マ・ノン・トロッポ

2. インプロヴィゼーション アンダンテ・カンタービレ

3. フィナーレ アンダンテ-アレグロ

※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

Profile



©Norizumi Kitada Universal Music

石田 泰尚

Yasunao Ishida

Violin

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、現在神奈川県フィルハーモニー管弦楽団首席ソロ・コンサートマスター及び京都市交響楽団ソロコンサートマスター。

これまでに神奈川県文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。2024年には自身が結成した弦楽合奏団「石田組」が日本

武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。

2025年12月より川崎市市民文化大使に就任。2026年10月11日には石田組で大阪城ホール公演が予定されている。



©Akira Muto

上原 彩子

Ayako Uehara

Piano

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでに、ヤノフスキ、ノセダ、ルイ-ジ、ラザレフ、ペトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、尾高忠明、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。

2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより「ラフマニノフ 13の前奏曲」「上原彩子のモーツァルト&チャイコフスキー」「デビュー20周年記念コンサート・ライヴ盤」等4枚がリリースされている。東京藝術大学音楽学部 准教授。令和4年度文化庁長官表彰受賞。